

エフエフエフ

立川と語ろう 立川に生きよう

October 2024

Écoutez Bien Vol.41 No.475

10

10周年を迎えたアール・ブリュット立川





Pâtisserie JINKÉ

〔パティスリー ジンケ〕

秋はゆっくりお菓子を味わう季節です

10月に5周年を迎える柴崎町のケーキ屋さん。
質の高い美味しさが、いつも変わらずそこにあります。

実りの秋です。果物をモリモリに乗せたタルトはいかが。
華美になりすぎない、シンプルなケーキがショーケースに並びます。
その1つひとつに込められた魔法の味は、子どもには楽しい、
大人には充実の時間を作ってくれます。
立川生まれ、立川育ちの店主です。
想いのこもったアートのようなお菓子を、どうぞ。



ケーキ2種 アブリコ アールグレイ (手前) と ケークエラブル
常温で一週間の日持ちがします。お土産にいいですね。他にもいろいろなお味があります。



タルト フリュイ 季節で果物が変わります



トナ (ミルクチョコレートムース)



ショートケーキ



オクマーレ (チョコケーキ)



フロマージュ キュイ
(バイクドチーズケーキ)

パティスリー ジンケ

立川市柴崎町2-4-19

オネストヴィレッジ1階西側

TEL 042-527-8300

営業時間 11:00~18:00

定休日 月曜、火曜定休

(イベント・祝日の場合は変更あり)

※カード、電子マネーのお取扱いはありません



ネットでも公開しています

アール・ブリュット立川 10周年

感動を広く伝えたい

福祉の枠を越えて

作品が放つエネルギーや魅力に触れてもらいたい

熱意に燃えた10年間

——アール・ブリュット立川は10周年。

松寄 2015年2月立上げから今年度で10周年になります。2023年の報告作品集ですが、奨励金と立飛さん、真如苑さんにご協力いただいて作りました。本当にありがたいです。それ以前の活動報告には、ご協力頂いた企業さん、福祉事業所さんのお名前は全部入れています。こうして皆さんに支えて頂いてやってきました。

——アール・ブリュット立川を立ち上げるきっかけは何だったのですか。

松寄 下の娘が肢体不自由児で、保育園までは通えていたのですが、小学校に入学して学童に入れないと思った時、時代的にまだ学童に入らなかったんです。それをきっかけに会社を辞めて、教員免許を持っていたので、図工教室を開いて教えるようになりました。中学校の美術部で教えて欲しいとか、障害をもっている方に教えて欲しいと言われるようになり、少しずつ教える範囲が広がる中で障がい者アートに出会ったのです。これはすごい!面白い!と思いましたね。一方で障がい児の親という立場から、自分には臨床美術が向いているなと思って、その時に学校に通って臨床美術士の資格を取りました。

——臨床美術というのは音楽療法と同じようなイメージですか。

松寄 そうですね。もともとは認知症の人ために発案されたもので描けるようになることが目的ではなく、表現することが楽しいと思って頂けるようにアプローチするものです。臨床美術に・・・すごい作品に出会った時の震えるほどの感動を少しでも多くの人に伝えたくて活動したいと思ったんです。

——すぐ始められたのですか。

松寄 一緒に臨床美術の学校に通っていた人にアール・ブリュットの活動したいよねと相談したり障がい者の集まりなどでも話したのですが、なかなか理解を得られなくて、ある方に「やりたいんだったら、自分で手を挙げるしかないよ」と言われ、そうか、それしかないかということで始めたんです。

——アール・ブリュットの作家さんたちの作品って、私たちには発想も及ばないし、色合い、形、何もかもがかなわない。

松寄 そうなんですよ。もう「参った」としか言えない。白旗挙げるしかない、今まではなんだったんだろうと思わされます。この感動は絶対誰の心にも届く、やるんだったら福祉の人たちだけが見るのではなくて、何も知らない一般の人に見てもらいたいという思いがあって、それだったら地の利から言って伊勢丹立川店さんだろうと。福祉色が強くなると一般の人からは遠くなってしまうので、企画書を書いて伊勢丹さんに行きました。その時、社協の当時の近藤事務局長に相談にのって頂き、伊勢丹立川店にも一緒に行って頂きました。

——現在の副市長ですね。

松寄 伊勢丹さんではマネージャーさんが作品を観て、すぐに5階の特別室をお貸ししようと言ってくださったんです。4月にお問い合わせに行き、会期が10月でしたから、お金を集めるのも作品を集めるのも、本当に大変でした。沢山の方が来てくださって、一般のお買い物客の方が来られて「素敵ですね」と言ってくださったのは、本当に嬉しかったです。

——伊勢丹さんではその後何回展示会をされましたか。

松寄 6回です。最初の企画書で、2020東

京オリンピック・パラリンピックまでやらせてくださいとお願いしてあったので。2020年はコロナ禍でしたが、7階催物場を使わせて頂いて、本当にいい展示ができました。

——林航平さんの作品は驚きでした。

松寄 航平君に最初に会ったのは航平君が高校三年生の時で、立川市肢体不自由児者父母の会「たつのこ」の会員さんから本当にすごい子がいると紹介されて、おうちにうかがいました。航平君の手から魔法のように作品が生まれてくる。次から次へと生れ出てくる。話が逸れてしまうのですが、明星大学の吉川かおり教授に呼んでいただき90分の講演をさせていただいたんです。以前は講演だけだったのですが、今回は私の講演を60分、航平君のアートパフォーマンスを30分したいと教授に話したらとても喜ばれて、実際に航平君の30分が大盛り上がりだったんです。アートの力ってすごいなと思いました。それもリアリティって、映像では伝わらないものも伝わっていく。

——他の作家さんたちもそうなんでしょうね。松寄さんのこうした活動に進む根本は、やはり次女の方の存在なのでしょう。

松寄 それは大きいと思います。今は個性に合わせていろいろな選択ができますが、30年以上も前の時代はそうではなかった。インクルーシブ教育を勉強した結果、次女にはその方が合っているんじゃないかと思ったんです。私の場合は下の子ですから、私が学校に付き添うことは可能でした。でも障害を持った子が上の子だったら、どうかなと思い、教育長や教育委員会に何度もお話をし、とにかく介助員をつけて欲しいとお願いしたんです。その当時は、まだ制度にはできないと

言われましたが、入学してGW明けだったかな、介助員が見つかって、立川で初めて親ではない介助員がつくということになったんです。嬉しかったですね。その後制度化されました。

——若葉小学校にお入りになったのですか。

松寄 けやき台小学校です。今の若葉台小学校。次に中学にな

ると上下行動が多くなる。それでエレベーターを設置してもらえるといいなという思いがありました。すぐお金のかかることでしたが、当時の青木市長にお話して、父母の会の名前で議会に請願書を出したんです。エレベーターを設置してほしい、環境を整えてほしいと。当時よく使われていたノーマライゼーションも請願書に書いた覚えがあります。防災の面でも上下移動は必要になると思っていました。26年前のことで、当時は東日本大震災の前でしたから、今ほど「学校が避難所」というイメージはなかったと思うのですが、請願書が議会で、全党派一致で可決された時は、本当に嬉しかったです。反対がないということが私の中では大きかった。今はほとんどの中学校にエレベーターがついて、小学校も建て替えた学校にはありますよね。次女が20歳になった時、ちょうど青木市長が退職される時で、娘は青木元市長に手紙を書いたんです。内容は知りませんが、たぶん自分の教育環境を整えて頂いたお礼だと思います。その後お返事を頂いて、文言が違ってたらごめんなさい、ご自身の努力が報われた思いがしたという内容が書かれていたと思います。

——それにしても松寄さんのエネルギーって

松寄ゆかりさん

1959年愛媛県生まれ。アール・ブリュット立川実行委員会 実行委員長。高校を卒業して上京、美大で彫刻を学び、アニメの会社で背景画を描くこと15年、下のお子さんが学童に入れないことをきっかけに、教員免許をもっていることから絵を教えることに方向転換。必要に迫られて臨床美術士、保育士、介護福祉士の免許も取得した。アール・ブリュット立川を立ち上げて10年、実行委員のボランティアの仲間とともに、次へ次へと走りまわる毎日。今、ここから先の活動続けるべくバトンを渡す人を探している。臨床美術士、介護福祉士、保育士、たまfunアート代表。

※アール・ブリュットとは「加工されていない、生(き)のままの芸術」という意味のフランス語。伝統や流行などに左右されず自身の内側から湧き上がる衝動のままに表現した芸術と言われています。



すごいですね、本当に頭が下がります。お嬢さんたちに付きっきりのお母さんではなかったんですね(笑)。

松寄 そうかも(笑)。

——生きがいをお持ちだからかな、イキイキされていますよね。

松寄 そうですか、そこそこ大変なのにね(笑)。大変なのに大変そうに見えないみたい。——アール・ブリュット立川=松寄さんですから。松寄さんは常に「実行委員の皆さんが一緒にやってくださったから」とおっしゃっていますが、実行委員さんは何人いらっしゃるのですか。

松寄 9名いますが、私ともうひとりが肢体不自由児者父母の会で、3名が手をつなぐ親の会、あと4名は青梅、国分寺、東久留米、府中の他市からボランティアで来てくれます。身を削ってね、自分たちのボランティア活動に会費まで払っているんですよ(笑)。——すばらしい。作家さんたちの収入の道も切り開いているんですね。

松寄 立川生まれ立川在住のアール・ブリュット作家、玉川宗則さんの原画作品は、ふるさと納税の返礼品になっています。の一かるバザールジバーカフェでは常設展示とグッズ販

売してもらっています。カフェの箸袋には、アール・ブリュット作家の柴田将人さんにイラストを描いてもらい、箸袋の紙漉き、印刷、折りをしらゆりさんという福祉事業所にお願いしています。アール・ブリュット作家以外にも収入につながる事が目標の1つだったので良かったです。マルシェでも販売しています。

——これからのアール・ブリュット立川は。
松寄 立飛の180mの壁、立川駅東地下道に壁画を描いたことで街の風景を変えることができたのではと思っています。市民の皆さんにも喜んでいただけていることや、壁画が、位置情報ゲームのポケモンGOのポケストップに7箇所選ばれていることはとても嬉しいです。10周年の特別企画として2025年1月17日～2月11日国営昭和記念公園花みどり文化センター内で展示をします。音楽とのコラボも考えています。これから、う～ん どうなるんだろう。とにかく来年以降もやるのがもう決まっていて、持続可能なクラウドファンディングや、立飛さんや真如苑さん、また他の企業さん、団体さんからご寄付やご協力、助成金などの申請をしながらやっていく予定です。私達実行委員も頑張っていりますが、バトンが渡せる方を探しています。



8月25日パレードの様子



8月3日、4日の盆踊りやステージ、子ども神輿など

〈あけぼの夏まつり〉



7月21日の盆踊りの様子 前日は雷雨で中止



8月24日、25日例大祭の様子

〈諏訪神社例大祭・盆踊り〉



お訪ねしたのは、羽衣会の盆踊り、愛宕神社 東栄会の盆踊り、諏訪神社の盆踊り、七番組夏まつり、あけぼの夏まつり、そして諏訪神社例大祭。七月二十日は、これからだという時に雷雨になって、あちらこちらで盆踊りを中止にしていました。その分、翌日楽しくみんなで踊ったとあとからうかがいました。かつて羽衣町のねぶた祭も雨によく降られましたが、お祭りに雨はつきものなのでしょう。ともかくにも、猛暑と雷雨の中、無事にお祭りも終わり、秋に入った立川です。夏の様子を写真でご覧ください。

コロナ禍でなんとなく下火だったけれど
今年は盛大に
お声をかけてくださった町会にお邪魔しました

笑顔がいっぱい花咲きました

立川の夏はにぎやかに



行ってきました 立川の盆踊り・お祭り



7月20日、盆踊りの前に昭和第一学園の方たちによる演奏がありました。この後雷雨で中止、翌日盆踊りを和やかになされたそうです



〈東栄会夏祭り納涼盆踊り大会〉



盆踊りが始まる前から賑やかでした

〈羽衣会納涼盆踊り大会〉



七月二十八日 子どもが多くて賑やかでした



えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
今月は 泉町・西砂町・一番町・上砂町・砂川町
柏町・幸町・若葉町・栄町・高松町のお店です。

- 泉町 ● 西砂町 ● 一番町 ● 上砂町 ● 砂川町 ● 柏町 ● 幸町 ● 若葉町 ● 栄町 ● 高松町
- インヴォラーレ・ルーデンス
blooming bloomy ららぽーと立川立飛 548-1215
海上保安庁海上保安試験研究センター 526-5630
Café はあもにい♪ 512-7810
大和ハウス工業(株) 東京西支社 525-1821
- 砂川庵 甚五郎 531-6788
- 私立立川ひかり保育園 531-1273
- B3+ギャラリーウェルメイド 538-7250
fresh shop スーパーはしもと 536-2331
- ファーマーズセンター みのーれ立川 538-7227
陶工房 己流庵 537-6102
多摩信用金庫 砂川支店 535-4411
珈琲豆焙煎工房 まめ吉 535-1070
BREAD & Sweets マニシェール 537-2202
- 山梨中央銀行 立川支店 536-0871
株式会社 セレモア 534-1111
パワー軒 535-1665
H.works 537-7763
ペーカリー リオンドール 535-4882
(有) まつい測量 534-4411
ピーコック 玉川上水店 538-3861
菅家医院 536-4602
- いなげや 立川幸町店 537-1820
多摩信用金庫 幸町支店 535-5311
中国料理 SANFUJI 536-3813
西武信用金庫 幸町支店 537-3101
お米屋さん 大黒屋 536-0851
松浦商事株式会社 535-6001
至誠キートンホーム 538-2323
とんかつ・割烹 かつ亭 535-4611
ドイツ製法ハム・ソーセージゼーホフ工房 535-5009
和洋菓子 たちばな 537-0347
青梅信用金庫 玉川上水支店 535-3411
BS タイヤショップ 佐藤商会 537-0912
古楽の小屋 ロバハウス 536-7266
- スーパー ヤオコー 538-1711
ありた整骨院 534-1622
カフェ タイニーガーデン 507-1346
カフェ・レストラン てくたく 536-5788
- 多摩信用金庫 栄町支店 536-9711
いなげや 立川栄町店 523-7201
チーズ王国 本社 513-4101
彩食中華 須崎 507-0981
寝具の石川 524-1333
手作りパン工房 Bonheur~ボヌール~ 536-3207
メンズカット ヤザワ 536-8738
(株) 立飛ホールディングス 536-1111
大型コインランドリー マンマチャオ栄町店
- 立飛麦酒醸造所 527-1894
金田スイミングスクール立川立飛
ルーデンス食堂
米穀・食料品 横町屋 522-2609
サイクルセンターシバタ 522-3888
セイロン風カリヤ シギリア 507-2418
ライブハウス Crazy JAM 529-9507
立川湯屋敷 梅の湯 522-3800
ヘアサロン イトウ 522-6281
立川伊勢屋 本店 522-3793
大野サイクル 523-2061
立川キリスト教会 526-6826

jorakugajo

真如苑提供番組「常楽我浄」

スカパー！：529ch

スカパー！で放送の常楽我浄は
スマホアプリ「スカパー！番組表」(無料)で視聴できます。

J:COM 多摩：11ch・111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

街の話題

掲載しきれなかった写真などはQRコードからどうぞ



オープンしました 素敵なお店

新しく開店したお店を2つご紹介します。いずれも「月刊えくてびあん」を置いてくださっているお店です。1つは立川市緑町立川地方合同庁舎1階に7月29日オープンした〈Table Culture EMUSUBI〉。音色が美しいオルゴールと、ノリタケや大倉陶器の器がたくさん並ぶお店です。スイスの高級オルゴールメーカー REUGE の製品を始め多くのオルゴールを扱っています。電子音に慣れてしまった耳に心地よく届く優しい音色。お店で聞いてみて下さい。店内にはテーブルウェアも並んでいます。また立川市の錦中央工業株式会社製 焚火台ぶちピコ、ゆらりんも。是非一度足をお運びください。



REUGEのオルゴール、ニデック製もあります



スタイリッシュなオルゴール展示



焚火台各種



ノリタケ製品がずらっと



大倉陶園の器がこんなに揃っていると
ころは、多摩には他にありません

もう1つのお店は柴崎町2丁目です。2008年に立川市で創業しその後昭島に移っていた〈Sweeney Dog〉、ワンちゃんのためのビューティーケア&ホテルです。高級感溢れるサロンで、ワンちゃんたちは気持ちよくキレイにしてくれます。キレイにしてもらうだけでなく、ご希望があればスタジオで可愛く撮影してもらえます。7月20日に新装オープンしたSweeney Dog。ワンちゃんの飼い主さん方、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



Sweeney Dog外観



目印の看板



お店の中もすてきです



Sweeney Dogの頭文字

Table Culture EMUSUBI

立川市緑町4-2 立川地方合同庁舎にぎわい店舗1階
TEL 042-537-8974
11:00~18:00 月曜日・金曜日定休

Sweeney Dog

立川市柴崎町2-2-16 福島ビル1階
TEL 090-6017-8211
9:00~18:00 火曜日定休



防災の9月、消防の話題を2つ

消防大好きえくてびあん。今月は2つ話題をご紹介します。
1つは「第73回はたらく消防の写生会作品展」です。東京消防庁による小学生を対象にしたコンクールで、本年は管轄区域にある小学校25校2,422人が参加し、優秀賞60点、入選114点が選ばれました。この日は伊勢丹立川店5階の特別室に絵を展示、立川消防署長から賞状が授与されていました。臨場感ある絵がたくさんあって、見応えありました。



絵画展示の様子



山崎純一立川消防署長から
賞状が手渡されました

もう1つの消防活動は、立川消防署内で行われた消防署員による「令和六年度 機関員技能審査」です。広報車、ポンプ車、はしご車の技能審査が行われました。それぞれの資格を取って間がない方々を応援するための審査会。女性の活躍がめざましい東京消防庁、この日も2名の女性が技能審査を受けていました。広報車とポンプ車の技能審査には、狭い道路を運転する技を問われるものがあり、黄色いテープを踏んだりパイロンに当たると笛を吹かれてしまいます。実際の火災現場で、細い道をモタモタ運転しているわけにはいかないからだそうです。はしご車の審査では、伸ばした梯子を建物に沿って等間隔で動かす審査がありました。夏の暑い1日、こうした審査会に向ける訓練が安全安心なまちづくりに繋がるんですね。



はしご車



ポンプ車



ポンプ車



広報車



ポンプ車



ポンプ車

ドーバーばばあ、
上映会！

ドーバーばばあのその後を気にしている方、朗報です！
昨年9月にドーバー海峡を渡った「ドーバーばばあ」たちが、映画になって皆さんの前に戻ってきます。10月4日、初回は10時~13時。2回目は13時半~16時半の予定で、アイムホールで上映会が開かれます。入場料は1500円。映画のタイトルは『ドーバーばばあ2~つなぐ~』です。単発の「ドーバーばばあ」では終わらない。つないでつないで、新たな「ドーバーばばあ」が登場する？ 詳しいことは映画の中で！

上映会 問い合わせ先
info@duckduckgoose.jp



表紙

立川で三代 岡部家(曙町)

初めて撮影にうかがったのは、2014年8月号の時、栄町にある株式会社ヤマブ本社社長室でした。あれから10年、当時専務でいらした栄一さんが、本年6月に代表取締役社長に就任され、それに伴い直士さんは会長に。息子さんたちが、びっくりするほど大きくなっていました。当時はまだ生まれていなかったお嬢さんは6歳。今回の撮影場所は曙町、創業の頃、最初に社屋兼工場を建てた場所です。創業以来製麺一筋で、現在は惣菜製造も手掛けています。



2014年8月号の表紙

かたこと

◆暑すぎたり大雨だったり、心配事の多い夏でした。秋の長雨、台風の子供に入りませんが、大きな災害が起きないよう祈るばかりです◆9月号に掲載しましたAEDマップ、多くの方がご覧くださいました。ありがとうございました。製作者の小野塚さんは、ネットにアップしてあるAEDマップを有効に使うって頂きたいとおっしゃっていました。ネット上のマップは正しいのですが、えくてびあん紙面のマップでは、第三小学校と年金事務所の位置が異なっていました。申し訳ありませんでした◆1年に1度、えくてびあん紙面でケーキ屋さんを紹介します。ジンケの店主 堤さんとお話ししたりケーキを頂いてみると、1つひとつに思いを込めていること、思いは味となって人に伝わるということがよくわかります◆アール・ブリュット立川の松崎さんには、ただただ頭が下がります。企画力も行動力も素晴らしい。自分のためではなくて、多くの方のために一番骨を折っている。なかなかできないことです。バトンを受け取る人が出てくることを願います◆空高く爽やかな風が吹く季節。よいと祭りも開催されます。楽しい話題をお届けしたく、立川の街を走ります。

えくてびあんスタッフ一同

えくてびあん ◎

10月号 第41巻 通巻475号

令和6年10月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082 FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL https://www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・編集 えくてびあん編集スタッフ
写真 五来孝平・鎌田美利子
デザイン 池田隆男 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 ダイオームウラ株式会社・DECK C.C.

無断転載を禁じます。

最初の社屋兼工場

今回は、表紙に登場いただいた株式会社ヤマヲから提供して頂いた写真です。株式会社ヤマヲは本年創立70年。創業82年を数えます。現社長の岡部栄一さんの曾祖父、岡部良三さんが「ヤマヲ岡部商店」として個人経営を始めたのが起点。やがてその息子さん、岡部良夫さんが「有限会社ヤマヲ」を設立。その時から70年です。当時の立川はまだ合併前で、「砂川闘争」がまもなく勃発という時代。創立20年には「株式会社ヤマヲ」

に組織変更、現会長の岡部直士さんが入社され、立川の発展とともに「従業員の幸せを第一に考える」会社として、大きく成長してこられました。「麺一筋70周年」の節目に代表取締役役に就任された岡部栄一さん。外国人従業員比率約75%という中で、「多文化共生企業のロールモデルに」と、就任に際して抱負の1つに挙げられていました。

今日もヤマヲのロゴが入ったトラックが、首都圏全域を走っています。

(写真提供：株式会社ヤマヲ)



最初の社屋兼工場（曙町）、表紙の写真を撮影したのと同じ場所

他の写真はこちらで

